

町民の皆様へ

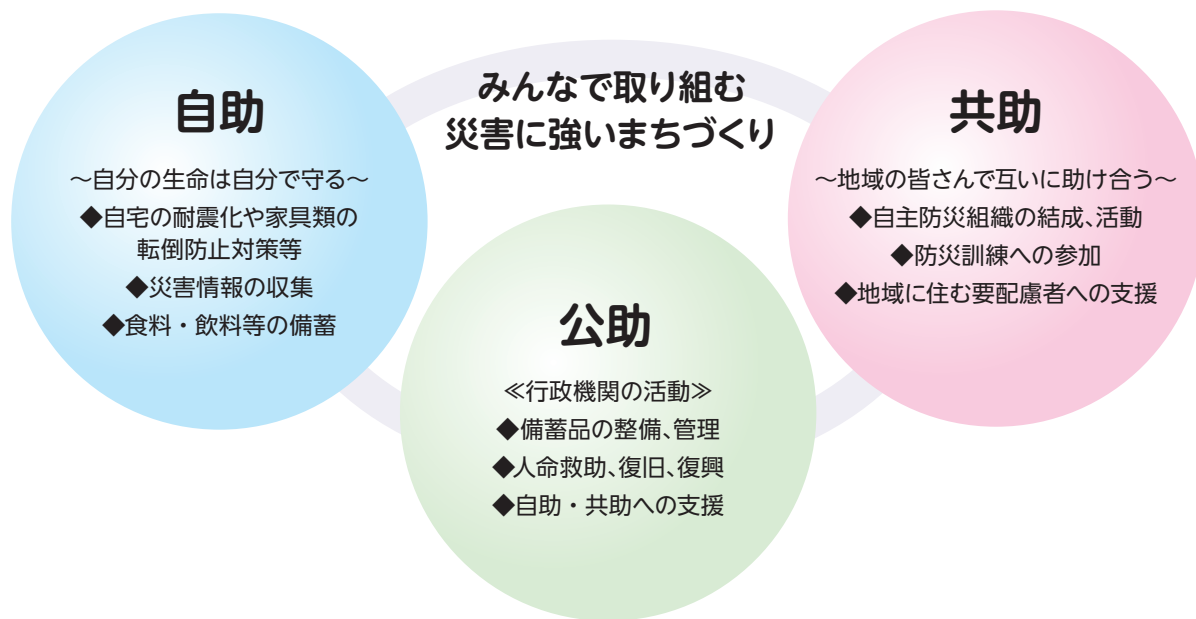
自然災害に対応するためには町民一人ひとりの活動や地域内の協力による活動が重要です。災害による被害をできるだけ少なくする(減災)ためには、「自助」・「共助」・「公助」3つの連携が必要であると言われています。

災害に立ち向かうためには、ご家族や地域で「防災用品などを日ごろから備える」、「自分の家の安全対策をしておく」、「地域の危険箇所を知る」、「災害時の連絡方法や避難方法について話し合う」など、日ごろからの「心構え」と「備え」が必要です。

「奥尻町総合防災マップ」には、地震災害・津波災害・洪水災害・土砂災害等の災害時に避難を判断する際に必要な情報を掲載しています。身近な場所に保管していただき、ご家庭や地域といった身のまわりでどのような災害の危険が及ぶのかを考え、被害をできるだけ少なくするために、防災・減災について考える際の参考にいただければ幸いです。

地域の防災力を高める 自助・共助・公助

地震や洪水、台風等の自然災害による被害を最小限に抑えるためには、自分の命は自分で守る「自助」、地域で助け合う「共助」、行政の救助・支援「公助」の取り組みが必要です。「自助・共助・公助」の連携により地域防災力を高めておくことで、災害時の被害を減らし、くらしの回復を早めることができます。いざという時に備え、適切な行動ができるよう日ごろから防災を意識しましょう。



家族みんなで防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざというときに慌てず行動できるよう、本書を活用いただき、家族で普段から話し合っておきましょう。

<input type="checkbox"/> 家の中で一番安全な場所
<input type="checkbox"/> 家族一人ひとりの役割分担 ・安否確認、非常持出品・備蓄品のチェック、避難経路の確保、隣近所への連絡など
<input type="checkbox"/> 避難場所、避難経路 ・自宅と避難場所を確認し、マップに描き入れましょう ・避難経路を実際に歩いて確認しましょう
<input type="checkbox"/> 自宅付近の災害リスク、危険個所の確認
<input type="checkbox"/> 災害が起こった時の身の守り方
<input type="checkbox"/> 家族が離ればなれでいたときの連絡手段、集合場所
<input type="checkbox"/> 要配慮者(乳幼児、高齢者、障がい者、妊産婦など)のサポートと避難方法

